

千葉市議会改革推進協議会報告書（案）

平成 26 年 12 月 日

目 次

【本編】

1	議会改革推進協議会の設置目的	1
2	議会改革推進協議会委員名簿	1
3	議会改革推進協議会における協議の概要	2
4	協議結果	
	(1) 5分科会審査とすることに伴う申し合わせ事項等詳細事項の見直し	3
	(2) 議員定数の見直し	3
	(3) 議会報告会等の検討	5
	(4) 通年議会等議会運営の検討	5
	(5) 政策条例の提案	5
	(6) I C Tの活用	5
	(7) 議会の災害対策及び活動の体系化について	5
5	議会改革推進協議会の開催日及び主な協議事項	6

【資料編】

8

本市議会は、平成25年7月11日開催の幹事長会議の決定を踏まえ、要綱により「千葉市議会改革推進協議会」（以下「議会改革推進協議会」という。）を設置した。（設置要綱は、【資料編】 千葉市議会改革推進協議会設置要綱のとおり）

議会改革推進協議会では、議会改革について1年6か月にわたり協議し、このたび、平成26年12月31日に設置期間終了を迎えるに当たり、これまでの協議結果をまとめ、設置要綱第7条に基づき議長に報告する。

1 議会改革推進協議会の設置目的

議会改革推進協議会は、議長、副議長及び各会派幹事長を含む16人で構成され、千葉市議会の基本理念に則り、議会改革を一層推進するため設置されたものである。

（設置期間：平成25年7月11日から平成26年12月31日まで）

2 議会改革推進協議会委員名簿

H25. 7. 11～H26. 12. 31

区 分	委 員 名	備 考
自由民主党 千葉市議会議員団	秋 葉 忠 雄	
	川 村 博 章	幹事長
	宇留間 又衛門	委員長（議長）
	小 川 智 之	
	米 持 克 彦	
民主党 千葉市議会議員団	段 木 和 彦	幹事長（H26. 7. 23～）
	白 鳥 誠	（幹事長～H26. 7. 22）
公明党 千葉市議会議員団	近 藤 千 鶴 子	幹事長（H26. 4. 21～）
	川 岸 俊 洋	（幹事長～H26. 4. 20）
日本共産党 千葉市議会議員団	中 村 公 江	
	福 永 洋	幹事長
未来創造ちば	福 谷 章 子	副委員長（副議長）

	佐々木 久 昭		幹事長
市民ネットワーク	山 田 京 子	H25. 7. 11～H26. 5. 31	幹事長
	湯 浅 美和子	H26. 6. 1～H26. 12. 31	
日本維新の会 千葉県議団	宍 倉 清 藏	H25. 7. 11～H26. 2. 13	幹事長
日本維新の会・ 結いの党	宍 倉 清 藏	H26. 2. 14～H26. 12. 31	幹事長
みんなの党 千葉県議団	櫻 井 崇	H25. 7. 11～H25. 12. 10	幹事長

3 議会改革推進協議会における協議の概要

千葉県議会「議会のあり方」検討協議会からの引き継ぎ事項4項目とその他協議すべき3項目を幹事長会議及びプロジェクトチームを活用し協議することとした。

まず、5分科会審査とすることに伴う申し合わせ事項等詳細事項の見直しについては、正副委員長案を了承し、平成25年第3回定例会から実施した。

(1) 本協議会の取り組み事項

残りの引き継ぎ3項目とその他協議すべき3項目の計6項目を本協議会の取り組み事項とした。

- ① 議員定数の見直しについては、幹事長会議で精力的に協議することとし、平成26年第3回定例会での定数条例の改正を目指した。
- ② 議会報告会等の検討については、政策条例の提案を検討するプロジェクトチームで併せて検討することとし、政策条例提案する際の市民意見を聴取する手法として検討した。
- ③ 通年議会等議会運営の検討については、本協議会で先行する他都市の状況などを研究して検討した。
- ④ ⑤ 政策条例の提案及びICTの活用については、それぞれプロジェクトチームを設置し、機動性を重視し検討することとした。
- ⑥ 議会の災害対策及び活動の体系化については、早急に協議すべきものとして、本協議会で協議した。

協議会の設置期間も限られていることから並行して協議を進めるため機動性を重視し、精力的に協議した結果、以下のとおり結論が得られた。

4 協議結果

(1) 5分科会審査とすることに伴う申し合わせ事項等詳細事項の見直し

予算・決算審査特別委員会分科会を2分科会審査から5分科会審査に見直したことに伴い、申し合わせ事項（先例）を変更した。

この申し合わせ事項の変更に基づき、平成25年第3回定例会決算審査特別委員会分科会より5分科会審査を実施し、定例会終了後の平成25年10月10日開催の第4回議会改革推進協議会から5分科会審査に係る詳細事項を検証し、下記のとおり決定した。

(5分科会審査に係る決定事項)

項目	決定した事項	決定した協議会
申し合わせ事項 (先例)	別添 資料〇のとおり	第1回
副委員長、分科会副主査のあり方、役割	副委員長・副主査は分科会において発言できることを確認し、委員長、主査を補佐する。	第7回
分科会における発言時間	一括質問、一問一答方式ともに答弁を含め、45分を目安とすることとし、不都合があれば再度、協議する。	第14回
1分科会当たりの指摘要望事項数	概ね2件とする。	第14回
指摘要望事項のまとめ方	局別審査終了後に正副主査案を事前に配付し、本会議散会后(常任委員会終了後)に分科会で協議する。	第7回
指摘要望事項を調整する場	予算・決算審査特別委員会正副委員長、分科会主査が集まり、指摘要望事項の確認、調整を行う。	第8回
指摘要望事項を行政に反映する仕組み	分科会の指摘要望事項は、文書回答だけではなく、執行部に説明を求める。	第9回
改選後に協議する事項	財政局審査の特出し、分科会審査日程については、改選後に協議する。	第14回

(2) 議員定数の見直し

幹事長会議で9回にわたる協議・検討を重ね、その後の議会改革推進協議会において、最終協議が行われた結果、議員定数削減のための条例案を提案することが決定された。

当初、幹事長会議では、削減数の意見は異なるが削減に賛成する5会派、現状維持を求める1会派、1増とする1会派の概ね3つの意見に分かれ、意見集約に至らない状況であったが、その後、削減に賛成の5会派において削減数の合意が図られたことから、議長より「反対する会派はあるが、削減を求める5会派が4減で一本化され、一定の方向性が見い出されたことから今後の協議はオープンな協議会のこと」の提案がなされ、了承を得て、平成26年4月28日開催の第11回議会改革推進協議会に協議経過を報告した。

報告を受けた議会改革推進協議会で協議を行ったが、各会派の意見は削減に賛成、反対に分かれ、合意には至らなかった。

(主な意見)

賛成	反対
<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況の中、議員も身を削り、議会費に占める人件費の割合を減らす。 ・緑区で住民意見を反映できている現状に鑑み、議員1人当たり人口は2万人が妥当 ・市は将来の人口減少、財政状況を見据えスリムな組織体制にする必要があるため、議会も率先すべき ・議会の行政改革として、議員定数削減に取り組むべき ・政令市の状況を比較すると、議員1人当たり人口をもっと増やしてよい。 ・限られた議員数で住民意見を吸い上げる努力をするべき ・定数を減らす努力をしないのは民意なのか。緑区の状況にできるだけ近づけることが、本市の状況を見たときに必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで決定し、権力を行使する直接民主主義が大前提 ・主権者の代表としての多様性を反映できるようにすることが望ましい。 ・法定定数の撤廃により、人口増に基づき定数増するほうが、住民意見を反映しやすい。 ・定数減は大政党に有利に働き、民意が正確に反映されない。 ・定数減により首長、行政への監視機能が低下する。 ・定数減は自治体の弱体化を招き、議員が身近な存在でなくなるため、住民の地方自治への参加を縮小する。 ・政令市のデータを基に人口2万人に議員1人とするのではなく、緑区や中央区のように人口が増えている区の定数を増やすべき ・過去の勉強会での講師見解のとおり、客観性のある第三者機関で議論すべき

協議会で議論を尽くしても意見の収束がみられないため、正副委員長案として「定数を減らしても、議会の広聴機能の充実といった方策を検討するとともに、議員がより一層努力することで、民意を反映させることは可能と思われることから、大方の意見を踏まえ、『第2回定例会に議員定数を4人減員し50人とする提案をする』」ことが示さ

れた。その結果についても、正副委員長案を了承するとの会派が5会派、了承できないとの会派が2会派であった。

最終的に全会派の合意には至らなかったが、大方の会派の了承が得られたため、平成26年6月2日開催の第13回議会改革推進協議会において、「第2回定例会で、議員定数を4人減員し50人とする条例案を提案すること」を決定した。

※平成26年第2回定例会において、議員定数を4人減（中央区、花見川区、稲毛区、若葉区から各1人減）とする条例改正をおこなった（次回の一般選挙より実施）。

（3）議会報告会等の検討

議会改革推進協議会において3度協議され、市民への何らかの報告会等を実施する必要性については、概ね方向性が一致した。

その後、政策条例策定体系検討チームにおいて協議・検討された。平成26年7月28日開催の第14回議会改革推進協議会において議会報告会等の検討の協議結果が報告され、平成26年9月3日開催の第15回議会改革推進協議会において、単なる議会報告会ではなく市民意見を聴取する意見交換会として千葉市議会政策形成基本フローの中に位置づけ、広聴機能の充実強化をすることとした。

（4）通年議会等議会運営の検討

通年議会の導入については、各政令指定都市及び府県議会の実施状況を調査した。

また、平成26年2月14日開催の第9回議会改革推進協議会において、議会運営委員会が行政視察を行った長崎県議会の通年議会導入後の運営上の変更点、導入のメリット、デメリットなどについて報告してもらい、質疑応答の後、今後も他都市の状況を調査し、検討することを決定した。

（5）政策条例の提案

政策条例策定体系検討チームにおいて10度の協議・検討を重ねた。

平成26年7月28日開催の第14回議会改革推進協議会において条例提案までの策定体制や手法の協議結果が報告され、平成26年9月3日開催の第15回議会改革推進協議会において、千葉市議会が一丸となって問題を解決するために方向性等を決定し、政策条例を策定するためのスキーム（体系）となる千葉市議会政策形成基本フローを策定した。

（6）ICTの活用

（協議中）

（7）議会の災害対策及び活動の体系化について

議会改革推進協議会で協議が進められ、「執行部に対する要請・要望等は議長に一元化」、

「議員は各地区の防災組織（避難所運営委員会）や市災害対策本部に対し、補佐的な役割を果たすことが重要」、「連絡体制・手段は、最悪の事態を含め、段階的な対応を想定すべき」などの意見が出された。これらの意見を踏まえ、大規模災害時に議会及び議員がどのような対応をとるべきかを定めた「千葉市議会大規模災害対応の手引き（案）」を作成し検討を行い、平成25年12月11日開催の第7回議会改革推進協議会において「千葉市議会大規模災害対応指針」として取りまとめた。

あわせて、大規模災害時に議会がどう対応するかを協議する場として「災害対策会議」を設置することとし、同じく第7回議会改革推進協議会において「千葉市議会災害対策会議設置要綱」を策定した。

その後、「千葉市議会大規模災害対応指針」及び「千葉市議会災害対策会議設置要綱」に、避難所等の情報を掲載した「資料編」を合わせ、「大規模災害対応ハンドブック」として全議員に配付した。

※平成26年第1回定例会中の3月12日に、議会開催中の大地震発生を想定した災害対応訓練を実施し、議場から避難した後、千葉市議会災害対策会議を開催した。

※平成26年10月6日には、台風18号に伴い市災害対策本部が設置されたことから、千葉市議会災害対策会議を設置し、被害状況等の情報を共有するとともに、議員がどう対応するかを再確認した。

5 議会改革推進協議会の開催日及び主な協議事項

開催回数	開催年月日	主な協議内容
第1回	平成25年8月9日	1 協議会の運営について 2 議会改革の推進における協議事項等について
第2回	平成25年8月30日	1 議会改革の推進における協議事項等について
第3回	平成25年9月12日	1 PTについて 2 議会報告会等の検討について 3 議会の災害対策及び活動の体系化について 4 通年議会等議会運営について
第4回	平成25年10月10日	1 議会の災害対策及び活動の体系化について 2 議会報告会等の検討について 3 分科会審査の検証について 4 通年議会等議会運営について
第5回	平成25年10月30日	1 議会の災害対策及び活動の体系化について

		<ul style="list-style-type: none"> 2 議会報告会等の検討について 3 5分科会審査の検証について 4 通年議会等議会運営について
第6回	平成25年11月21日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議会の災害対策及び活動の体系化について 2 5分科会審査の検証について
第7回	平成25年12月11日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議会の災害対策及び活動の体系化について 2 5分科会審査の検証について
第8回	平成26年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> 1 5分科会審査の検証について 2 通年議会等議会運営について
第9回	平成26年2月14日	<ul style="list-style-type: none"> 1 5分科会審査の検証について 2 通年議会等議会運営について 3 プロジェクトチームの検討状況について <ul style="list-style-type: none"> (1) 政策条例策定体系検討チーム (2) ICT化推進チーム
第10回	平成26年3月19日	<ul style="list-style-type: none"> 1 5分科会審査の検証について 2 議員定数について
第11回	平成26年4月28日	<ul style="list-style-type: none"> 1 5分科会審査の検証について 2 議員定数について
第12回	平成26年5月14日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議員定数について
第13回	平成26年6月2日	<ul style="list-style-type: none"> 1 議員定数について 2 5分科会審査の検証について <ul style="list-style-type: none"> (5分科会審査に関するアンケートの集計結果について)
第14回	平成26年7月28日	<ul style="list-style-type: none"> 1 予算・決算審査特別委員会における5分科会審査の検証について <ul style="list-style-type: none"> (5分科会審査に関するアンケートの集計結果について) 2 プロジェクトチームの検討状況について <ul style="list-style-type: none"> (1) 政策条例策定体系検討チームの協議結果 (2) ICT化推進チームの検討状況
第15回	平成26年9月3日	<ul style="list-style-type: none"> 1 政策条例の策定体系案について
第16回	平成26年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> 1 プロジェクトチームの検討状況について <ul style="list-style-type: none"> (1) ICT化推進チームの協議結果 2 協議会とりまとめ案について
第17回	平成26年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> 1 ICTの活用について 2 協議会報告書案について
第18回	平成26年 月 日	<ul style="list-style-type: none"> 1 協議会報告書案について

資料編目次

【資料編】

- ・ 千葉市議会改革推進協議会設置要綱
- ・ 千葉市議会の基本理念
- ・ 千葉市議会大規模災害対応指針
- ・ 千葉市議会災害対策会議設置要綱
- ・ 予算・決算審査特別委員会分科会申し合わせ事項（先例）
- ・ 政策条例策定体系検討チームの協議結果報告書
- ・ ICT化推進チームの協議結果報告書